

開催日時：令和6年7月10日（水） 13時00分から15時10分まで

開催場所：A301-302会議室

出席者：佐藤市長、熊谷教育長、清水総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・7月に入り今年の半分が終わり、年度でも3分の1が終わった。後半に向けて、年始に立てた組織及び個人の目標を振り返ること。
- ・暑い日が続いているので、職員の健康管理に目を配ること。
- ・7月1日に人事異動があった。年度途中で定数に足りない部署に補充したいという思いで進めてきているものの、人員確保がままならない状況であるが、現有勢力で乗り切っていただくようお願いする。そのためにも、管理職は、職員の心身の健康状態に目を配ってほしい。
- ・8月になると人形劇フェスタ、りんごん、地域の夏祭り等事業があり、職員又は地域の一員として参加することがあると思うが、大事なことなので積極的に参加してほしい。

<教育長>

- ・人形劇フェスタのワッペン販売が始まった。職員でも購入いただき身に着けている方が多くいることに感謝申し上げる。昨年以上の参加者を期待するとともに、小中学生、高校生のボランティアスタッフも増えることを望んでいる。
- ・8月の上旬からは、小中学校で臨海学校、社会科見学などの行事が多くなる。不登校の児童生徒もこういった行事には参加できる場合があり、無事に行事が行われることを願うとともに、これを機会に学校に出でこられるようになると良い。
- ・不登校の課題に対して、学校内の中間教室の充実を図っている。「びーいんぐ」等公設の中間教室に通うこともが少ないという状況があり、理由を分析しているところである。校内の中間教室の充実により校内に居場所ができている状況であれば良いと考える。

2 協議事項

(1) 令和7年度からの当初予算編成手法の見直しについて

◇趣旨

- ・令和7年度からの当初予算編成手法の見直しについて提案する。

◇意見

(福祉部長)

- ・特殊要因を3月に把握するという意図は何か。

(財政課長)

- ・次年度の予算の枠を作成するために必要となるため、3月には減額要因もあわせて特殊要因を把握する。

(企画部長)

- ・部局別事務費配分枠及び部局別要求上限額は、いつ示すのか。

(財政課長)

- ・1次要求前の説明会で示す予定である。

(企画部長)

- ・今年度はいいだ未来デザイン2028後期計画を策定する年であり、1次要求時期の8月～9月は小戦略に基づく取組を組立てていくタイミングとなると考えられる。

(市長)

- ・この見直しは、予算を組み上げる期間を確保しながらも労力を抑えていくものという説明であった。
- ・これまでは例年9月頃に個別の重点事業のヒアリングを行い、予算編成の基本方針を作成してきた。この見直しに伴い、重点事業ヒアリングの際に、次年度は各部局にとってどのような位置付けの年にするか、また、それに基づいた重点的な取組について、各部局長とキャッチボールをした上で予算編成の基本方針を発出したいと考えている。
- ・要求する側、査定する側という立場ではなく、みんなで予算を作り上げるプロセスの時間を長くとるための見直しであると捉えてほしい。

◇協議結果

- ・提案のとおり了承する。

(2) いいだ未来デザイン2028中期計画3年間〔令和3～5年度〕の振り返りについて

◇趣旨

- ・いいだ未来デザイン2028中期計画3年間〔令和3～5年度〕の振り返りについて確認する。

◇意見

(市民協働環境部長)

- ・中期計画3年間の振り返り資料の修正は可能か。

(企画部長)

- ・7月12日までは修正可能である。

(福祉部長)

- ・議会による行政評価について、8月5日、6日は通知から行政側の出席が読み取れなかったため、別件の予定が入ってしまっているが、配慮していただけるか。

(議会事務局長)

- ・追加の聞き取り要望があるか分からない状況であり、議会事務局で状況を把握して伝える。

◇協議結果

- ・提案のとおり了承する。

(3) いいだ未来デザイン2028後期計画 素案 について

◇趣旨

- ・いいだ未来デザイン2028後期計画 素案 について確認する。

◇意見

(議会事務局長)

- ・基本目標ごとのボリュームのバランス、小戦略の数等は、あらかじめ調整しているのか。

(企画課長)

- ・7つの基本目標の枠組みは4つの視点から考え出したものであり、枠組みの大小はこれからの議論である。戦略は、基本目標を固めていく中で検討する。議会からの意見も参考にしながら整理をしていく。

(産業経済部参事)

- ・「飯田（ここ）で育って・育ててよかったと実感できるまちづくり」の関係する部局等の長に産業経済部長が記載されているが、どのような意図か。

(こども未来健康部長)

- ・小戦略で入ってくる。

(産業経済部参事)

- ・「人を育て、呼び込み魅力的な産業をつくる」の関係する部局等の長に市民協働環境部長とゼロカーボンシティ担当参事を記載させていただく。カーボンニュートラルと女性の起業支援が入ってくる。

(ゼロカーボンシティ担当参事)

- ・同じテーマを違う枠組みで記載する場合、表現は統一したほうがいいのか。

(市長)

- ・同じテーマのものを別の視点で記載することはあっても良い。

(市民協働環境部長)

- ・「住民同士の助け合いによる地域づくりを進め、安全・安心な暮らしを実現する」に安全・安心の視点で「消費生活」の部分も記載してほしい。

(危機管理部長)

- ・安全という視点では「交通安全」なども入ってくるため、あわせて相談する。

(企画部長)

- ・自治活動の負担軽減は、どこに入ってくるのか。

(市民協働環境部長)

- ・「市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちづくりを進める」に入ってくる。

(教育次長)

- ・アウトラインに記載されている「ムトス」という言葉は、全体に関わってくるべき言葉のため、ここだけに記載されているのは違和感がある。

(企画課長)

- ・現時点では仮置きとして記載しているもの。アウトラインの表現は整理する。

(教育次長)

- ・関係する部局長に記載されている部局長は、説明の際に同席するのか。

(企画部長)

- ・具体的な取組にどう関わってくるかによって判断していただきたい。
- ・「自然を豊かにし、循環を基本に誰もが環境に配慮した暮らしをおくる」のタイトルについて、中期計画の基本目標では、「地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進」となっており、トーンダウンしているようにも見える。中期計画のタイトルと見比べて検討してほしい。
- ・「飯田（ここ）で育って・育ててよかったと実感できるまちづくり」の「ねらい」の中に、子育てが楽しいと感じるまちなどの少子化抑制の視点は含まれているか。

(こども未来健康部長)

- ・子育てが楽しいと感じるまちの記載はない。「ねらい」の中の「こどもにとって家庭は最初の学校となるよう親も一緒に育ち、家庭が一番安心できる環境づくりを進めます。」に含んでいるが、見えてはいない。

(市長)

- ・「ねらい」に記載されている内容は、最終的にどのように反映されるのか。

(企画部長)

- ・議決いただく事項は、タイトルと最終的に黒ダイヤとなる要素の部分である。「ねらい」の部分は現時点でタイトルの説明文の位置付けであり、最終的に計画としては表に出ていかない予定である。ただし、評価

の際には「ねらい」が記載される予定である。

(議会事務局長)

- ・「飯田(ここ)で育って・育ててよかったと実感できるまちづくり」は「ねらい」に対して要素が弱い気がするため、もう少し書き足した方が良いと感じる。

(こども未来健康部長)

- ・書き出すと膨大な量になってしまうため、含めて記載している。小戦略ベースでは、より具体的に記載する。
- ・「こども」の表記について、全て平仮名の「こども」と全て漢字の「子供」が混在してしまっているが、どのようにすれば良いか。

(市長)

- ・飯田市としては、全て平仮名で表記するよう統一する。

(企画部長)

- ・議会に提出するにあたり今一度内容をお互いに見合い、ブラッシュアップしてほしい。

(企画課長)

- ・修正期間は、7月12日の17時までとする。

(福祉部長)

- ・未来デザイン会議での意見などは、どの程度反映すればよいのか。

(企画課長)

- ・意見のあった内容がそのまま反映されていない場合、指摘をされた際、説明できれば良い。

(教育次長)

- ・タイトルに統一感がないが調整するのか。

(企画課長)

- ・現時点ではあくまで卵であるため、原案を作成していく段階で統一感のある形にしていく。

◇協議結果

- ・提案のとおり了承する。
- ・修正は7月12日までとする。

3 報告事項

(1) 地域づくりシンポジウム(第1講)の開催における職員参加について

◇趣旨

- ・地域づくりシンポジウム(第1講)の開催における職員参加について報告する。

(2) 第1回伝票返戻調査の結果報告について

◇趣旨

- ・第1回伝票返戻調査の結果報告について報告する。

4 令和6年飯田市議会第2回定例会の反省について

(企画部長)

- ・通告から一般質問までの期間が空いたことが変更された部分であった。

(議会事務局長)

- ・一部の部長からは、十分な聞き取りの時間が確保できなかったという意見があった。聞き取り時間を今回

より確保したほうが良いという意見があれば、1日間長く取れるように調整することが可能であるため、検討いただきたい。

(教育次長)

- ・教育委員会は質問の量が多かったため、聞き取りの調整に苦勞し、係長級のみで聞き取りの対応をしたこともあったため、聞き取りの期間が長くなることはありがたい。

(企画部長)

- ・意見を踏まえ、次回は市長通告の日程が1日間長くなるよう、議会事務局で調整いただきたい。

(企画課長)

- ・サイドボックスに入れた「しおり」は作成者しか削除できないため、不要なしおりをそれぞれで削除していただきたい。

(企画部長)

- ・委員会の補足説明資料の提出期限に統一のルールがないため、統一できるようにしたい。検討し、連絡する。

5 その他、連絡事項

(危機管理部長)

- ・危機管理事案の対応について、資料を参考に改めて確認してほしい。
- ・具体的に事案があったわけではないが、特に個人情報の取り扱いは、留意すること。
- ・全国的なことではあるが、当市でも熊の目撃情報が多数寄せられている。林務課で把握しているもので40件、民家に近いところで9件となっている。市民には必要に応じて各関係機関から連絡をし、情報共有できる体制をとっている。また、林務課から注意喚起のチラシを発出する予定である。
- ・山に入るイベントなどがある際には、熊よけの鈴をつけるなど工夫をし、十分に注意すること。

(教育次長)

- ・7月16日に東京大学牧野教授の研修会が予定されている。積極的な参加をお願いする。

6 閉会